

# 新しい風

倉敷市立琴浦南小学校  
平成28年2月16日  
No.29

## 梅一輪 一輪ほどの あたたかさ

服部 嵐雪

三寒四温とはよく言ったもので、少し暖かくなったかと思うと、翌日には寒風が吹くような日が続いていますが、学校にある白梅が花をつけはじめました。確実に春の足音が聞こえています。

春を呼ぶ・・・

28.2.15 撮影→

寒ければ寒いほど、梅は強い香りを放ちます。そして、まだ風も冷たいときに、いち早く春の兆しをもたらします。周りが寒いなかに咲く。清らかで、温かです。春がきたから梅が咲くのではない。梅が咲くので春がくる。そのような見方もできます。自然に春がくるのを待っているのではなく、寒冷な中で梅が咲くことで春を呼び込もうとしている。これは、私たちの生き方でいうとつらく、苦しいときによい兆しを見つけてゆく。そのことでよいことがどんどん膨らんでいくということでしょうか。

曲者（くせもの）の・・・

梅の枝は、こっちへ出てきたり、あっちへ出ていったりします。したがって剪定（せんてい）しないと形になりません。すんなりまっすぐ伸びている梅の木では喜ばれないのです。いわば、梅は曲者（くせもの）です。ところが、それなのに素直で温かい花を咲かせるところがすばらしい。どこか人間に似ているような、そのような気がします。

参照 「四季の公案」 玄侑 宗久



## 【 授業研修会 道徳 】

先週12日（金）に4年1組で道徳の授業研修会が開かれました。倉敷市内から40名近い先生方が参加されました。この1時間では、「自分たちの生活を支えている人々の思いに気付き、感謝の気持ちをもって接しようとする態度を養う。」ことをねらいに学習を進めました。実は、4年1組では「新しい自分に出会い自己の生き方を豊かにする」ことを目指し、学年当初から学習を積み重ねてきた上でのこの時間でした。子どもたちの発言や子ども同士の意見交換、それらすべてから真剣で温かい雰囲気が感じられました。

授業改革は今年度の大きな課題であります。今後も、算数だけでなく他教科においても研修を深め子どもたちの力をつけていきたいのです。次の学年につなぐためにも、学年末、最後の最後までけじめのあるきちんとした学習を続けていきます。

授業改革は今年度の大きな課題であります。今後も、算数だけでなく他教科においても研修を深め子どもたちの力をつけていきたいのです。次の学年につなぐためにも、学年末、最後の最後までけじめのあるきちんとした学習を続けていきます。

## 【おそうじ教室その2】

15日（月）には、2回目のおそうじ教室として11名



のボランティアの方が来ていただきました。今回は、2年生の掃除場所で教えていただきました。終了後は、「9月の頃と同じようにみんなまじめにしていました。」「ろう下を手を真っ赤にしてふいていましたよ。」「前来てくれたの覚えとる、そう言われてうれしかったです。」等の

声を耳にしました。使った雑巾をしっかりと洗って干せばもっと良いとのことでした。

寒風の中でしたが、一生懸命がんばる2年生の姿がとても頼もしく、輝いて見えました。